

ぐんまの子どもたちに豊かな学びを届けるために 学校における働き方改革への御理解 御協力をお願いします

教職員の多忙化解消に向けた協議会

先生たちの業務が多忙だと・・・

授業の準備ができない

若い人が先生を
目指さない

子どもたち一人一人に
目を向けられない

先生の健康が
守れない

授業の準備をする
時間がとれる

子どもたち一人一人
に目が届く

そこで、学校の働き方改革を進め、
教員が、教員にしかできない業務に
集中できる環境をつくる取組を進めています。

学校や教育委員会だけでは
進めることができなかった取組が、保護者、地域、関係団体の
皆様の御理解・御協力により、今、進んでいます。

○電話対応時間の設定

勤務時間外に留守番電話や自動応答を導入したり、
受付時間を定めたりする学校が増えています。

○学校行事の精選

式典・行事の目的や意義を踏まえ、時間
短縮や内容の精選等を行っています。

○進学にかかる手続き 等のデジタル化

学校が受験生に対して行う学校説明会や合
格者説明会の内容のオンライン配信、出願
手続きのオンライン化などが進んでいます。

○休日の地域行事への 引率業務削減

地域と学校のよりよい関係の構築を進めてまいりま
す。地域行事への参加の意義は大きいのですが、休
日の場合は学校職員が参加できないこともあります。

○教材費等の 集金方法の変更

引き落としや納付書による支払い、キャッシュ
レス決済などを導入する学校があります。

○部活動の活動時間 等や校内部活動数 の適正化

生徒や教職員にとって無理のない
運営への転換が始まっています。

○作品募集への参加 の精選

学校単位で出品する作品の精選やとりまとめの
縮減を行っています。関係団体の皆様にはイン
ターネットを利用するなど学校を介さない募集
方法への見直しをぜひお願いいたします。

○学校との連絡手段 のデジタル化

例えば欠席連絡のデジタル化は時間の有効活用につな
がっています。必要に応じて電話連絡も行っています。

○登下校対応時間の設定

校門の開門時刻を定めている学校があります。
見守り活動等も、いつもありがとうございます。

○部活動の地域連携 及び地域移行

子どもたちが将来にわたりスポーツ・文化芸
術活動に継続して親しむことができる機会の
確保や教員の働き方改革を目指しています。
※公立中学校等を主な対象

欠席連絡が I C T 化
され、朝の時間を有
効活用できるよう
になった

小学校でも教科担任制が
進み、担当教科が減り、
教材研究の時間が増えた

令和6年度の業務状況等調査（県内全公立
学校長が回答）では、「校時表の見直しを
行ったことで授業準備等の時間を生み出す
ことができた」「各種通信をアプリによる配信
としたことで、業務時間が大幅に削減され
た」といった意見がありました。学校・教育
委員会は、組織として連携して取り組んでま
いりますので、今後とも学校の働き方改革に
御理解、御協力をいただけますよう、どうぞ
よろしくお願いいたします。

令和6年度 教職員の業務状況等調査 教職員の自由記述欄より